

「議員」の評価結果 (個人票)

評価の分類：○＝「ほぼ満足」 △＝「努力が必要」

▲＝「さらに努力が必要」

評価期間：令和6年4月～令和7年3月

藤山 大

50歳 議員歴12年 22項目

分野	具体的な目標項目	評価	
		取組	成果
行政	第2青函トンネル構想推進	△	△
	若者の定住・少子化対策と高齢者にやさしい町づくりの政策提言	△	△
	危険と思われる町道整備と防災のスピーディーな対策の推進	△	△
	災害の備えと整備（避難路・道路等）	△	△
	SNSの活用	△	△
	優先順位を持った財政運営の推進	△	△
財政	町立診療所健全経営推進	▲	▲
	一次産業のさらなる発展への提言	△	△
経済	漁業者へのやさしい対応と漁獲量につながる新たな提言	△	△
	農業者へのやさしい対応と後継者育成	△	△
	B級グルメ等福島町の良さのPR強化	△	△
	SNSの活用（PR等）	△	△
福祉	町民が安心安全な町づくりとサポート体制	△	△
教育	福島商業高校の魅力化について	○	△
	文化・伝統を後世に残すための取組（四ヶ散米行列、奴行列、荒馬、七福神等）	○	△
	SNSの活用	△	△
その他	今後の「道の駅」のあり方	△	△
	各種行事への積極的な参加	○	○
	各種団体と協力し、経済効果に繋がる集客力が期待できるイベントへ発展させるための提言	△	△
	松前半島高規格道路整備の推進	△	△
	観光客を増やすためのPR（岩部クルーズ・両記念館等）	△	△
	インターネットを使つての報告（YouTube、X（Twitter）、Zoom）	△	△

杉村志朗

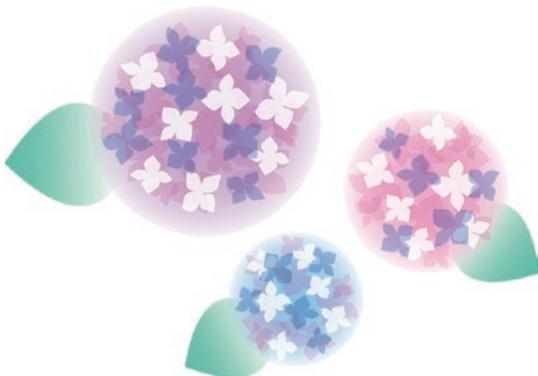
76歳 議員歴26年 11項目

分野	具体的な目標項目	評価	
		取組	成果
行政	第2青函トンネル構想の更なる推進	△	△
	町立診療所健全経営の確立	▲	▲
財政	財政基金の安定活用	○	△
	各団体等の補助金、助成金の確立	△	△
経済	町内スポーツ施設利用者増の取り組みを推進	△	▲
	スルメ加工以外の二次産業の推進	△	△
福祉	社会福祉協議会の安定経営	△	△
	人口増に期待する少子化対策	▲	▲
教育	文化や伝統の継承	△	△
	冬期間のスポーツ、文化の推進	▲	▲
その他	リニューアルした道の駅の今後のあり方	△	○

佐藤孝男

78歳 議員歴30年 15項目

分野	具体的な目標項目	評価	
		取組	成果
行政	若者の定住と雇用の場の推進	▲	▲
	大型公共施設の健全な運営を注視	▲	△
財政	財政調整基金の健全な活用	△	○
経済	一次産業の振興と新規就業者の育成	▲	▲
	ほだ木確保のため町有林の調査と作業道の整備	△	△
	陸上養殖アワビの生産拡大に向けた取組推進	▲	▲
福祉	町立診療所健全運営を注視	△	▲
	予防医療の推進（がん検診向上）	▲	▲
	家庭ごみ減量化の取組推進	▲	▲
教育	青少年交流センター取組推進	○	○
	学校給食での地場産物利用強化の取組推進	○	△
その他	第2青函トンネル構想実現に向けた推進	○	△
	松前半島道路（防災道路）早期実現に向けた取組推進	○	○
	冬期防災訓練実施に向けた取り組み推進	△	△
	各種行事の積極的な参加	○	○



■ 小 鹿 昭 義

72歳 議員歴5年 16項目

分野	具体的な目標項目	評価	
		取組	成果
行政	第二青函トンネルの構想実現	○	△
	ヒグマなどの鳥獣被害対策、空家対策への提言	○	△
	地域課題に対し、調査や意見を伺い、町民が安心・安全に住めるまちづくりの構築	○	△
財政	財政歳入歳出の更なる透明化の向上を図り、健全な町運営を推進	△	▲
	経費全体についての見直しを行い、適切な予算編成を提言	△	▲
経済	農業、漁業、水産、林業、商工業、観光などの地場産業振興の更なる推進	△	△
	円安による物価高に対する、町民への経済支援を提言	△	△
	新卒者や町内外の求職者雇用の場を確保するため、企業誘致を推進	△	▲
	自然、文化、歴史など、まちの特性を活かした広域観光の事業の推進	△	△
福祉	お年寄りや身体の不自由な方の要望に応じていく仕組みの確立化を推進	△	△
	お年寄りを支援する施設や、民間企業への経営支援を推進	△	△
	子どもたちの社会教育の充実を目的に、お年寄りとの交流機会を推進	△	△
教育	小・中学生へパソコン・タブレット端末を使った英会話オンライン授業など、資格取得やグローバル化に向けた学習の提言	△	△
	グローバル化に向けた低学年向けへのやさしい英会話教育の場の提言	△	▲
	家庭、学校、社会が連携した町民主体の文化、スポーツ活動を支援し、自ら学ぶ意欲と個性を伸ばしていく教育を推進	△	△
その他	町議、町職員と共に話し合い、「町民のためになるのか。ならないのか。」を町民の目線に立ちながら見極め、課題に取組む	○	○

■ 木 村 隆

45歳 議員歴18年 11項目

分野	具体的な目標項目	評価	
		取組	成果
行政	人口減少に伴う少子化との付き合い方	○	△
	半島振興法に伴う政策	△	▲
	防災対策と危機管理のあり方	○	○
経済	ブルーカーボンの方向性の注視	○	○
	陸上アワビ稚貝の確保に向けた取組	○	△
福祉	保育士の確保に向けた取組	△	△
	国保統一化に向けた提言	○	△
教育	部活動の地域移行に向けた取組	○	△
	青少年交流センターを中心とした高校のあり方	○	△
その他	渡島西部広域事務組合議会議員として消防、衛生の今後のあり方	○	○
	第二青函トンネル構想の機運向上政策	△	△

■ 平 沼 昌 平

69歳 議員歴20年 19項目

分野	具体的な目標項目	評価	
		取組	成果
行政	IT環境の整備促進と移住定住環境の整備促進	△	▲
	防災対策の対応と危機管理の熟成を提案（避難路保持、避難備蓄庫等）	○	○
	第2青函トンネル構想実現に向けた町内外に対する活動	△	△
財政	人口減少に対する積極的な財政支援と効率的な事業支援の提言	▲	▲
	子育て環境整備と出生率向上に向けた財政支援策について提言	△	▲
	財政健全化（予算審査、決算審査）に向けた取組と提言	△	△
経済	農林水産業の担い手対策と地元企業の雇用環境の充実	○	△
	地元企業が率先して高齢者再雇用を行う環境づくりに向けた取組と企業財政支援等検討	○	△
	気候変動から来る新たな産業創出と対応の取組	○	▲
福祉	高齢化人口に対する福祉環境の充実と介護人材の創出	○	○
	在宅介護の抜本的な取組と支援体制のあり方の提言	○	○
	ゴミ減量化に対する町民意識向上と理解・方策の提言	○	▲
教育	小中一貫教育に対する方向性と教育環境の充実	▲	▲
	小中高校生の行政・議会に対する認知度の向上と交流	▲	△
	IT環境の充実と脱炭素社会形成の理解とグローバル人材の育成	△	△
その他	議会議員の個々の議会活動の見える化と取組と今後の在り方	△	▲
	町民に対しての斬新な議会だよりの作成と議会活動報告の充実	○	○
	次期改選期に向けた新たな議員定数と報酬、なり手対策、女性議員の選出に向けての町民理解度を上げる対応	△	○
	地場産業の充実と観光事業等の取組の提言と町民対話の充実	△	△



熊野茂夫

75歳 議員歴10年 7項目

分野	具体的な目標項目	評価	
		取組	成果
行政	地域生活環境整備への提言をいたします	○	○
財政	健全で持続可能な財政運営への提言をいたします	△	△
経済	昆布養殖等、水産業の発展と漁家経営安定のための提言をいたします	△	△
	農林業の発展への提言をいたします	○	△
福祉	施設介護、訪問介護のサービス安定のための提言をいたします	○	○
教育	こども園、小中学校の学習環境の改善と、基礎学力向上のための提言をいたします	○	○
	福島商業高等学校魅力化と存続のための活動をいたします	○	○

平野隆雄

76歳 議員歴29年 17項目

分野	具体的な目標項目	評価	
		取組	成果
行政	第2青函トンネル構想実現推進	○	△
	福島川全体改修事業の早期実現	○	△
	町内景気対策と交流人口増	△	△
財政	財政調整基金の有効活用	○	△
	コロナ後の町立診療所の健全経営	○	△
	町内会にあった町内会館の新築・解体の早期実現へ	○	△
経済	養殖コンブ製品増の推進	○	○
	えぞあわび（養殖）生産増へ向けた提言	△	▲
	スルメ以外の商品開発推進	△	▲
福祉	高齢化と人口減少に対する町づくりの提言	○	△
	吉岡温泉ゆとらぎ館の活用で健康増進へ向けた提言	○	△
教育	少子化の中の教育行政推進	○	△
	福島商業高等学校入学増の推進	○	○
その他	青少年交流センターで生徒と町民の交流推進	○	△
	吉岡、荒谷新ルート防災道路の推進	○	△
	岩部海岸クルーズによる交流人口の活性化推進	○	△
	両記念館と伊能忠敬公園の観光客に向けたPRの推進	○	△

溝部幸基

77歳 議員歴44年 34項目

分野	具体的な目標項目	評価		
		取組	成果	
行政	「両基本条例」の目的達成に向けた活動推進（各種計画に関する提言・検証）	△	▲	
	自律、協働の「小規模多機能自治」に関する調査	▲	▲	
	行政サービスの効率的な運営への提言（外部委託・時間差出勤・研修等）	▲	▲	
	防災対策の提言（災害弱者・訓練・冬季対策等：危機管理に関する研修）	△	▲	
	過疎自治体における政策推進のあり方	△	▲	
	浄化槽（下水道整備）の普及推進	▲	▲	
	第2青函トンネル構想実現に向けた活動推進	○	△	
	ハラスメント条例の制定に向けた調査研究	△	▲	
	財政	財政健全化への取組（予算・決算審査・行政評価充実：基金の有効活用）	△	△
		退職手当制度の抜本的改善	▲	▲
各団体等への補助金、事業助成金等のあり方		▲	▲	
経済	起業に挑戦できる支援システムの創設	▲	▲	
	異業種連携による「福島ブランド」の開発（ブランド化システムの再検討）	▲	▲	
	地場産品の6次産業化に関する調査研修	▲	▲	
	産業団体と課題に取組む産業公社の仕組みづくりの調査研修	▲	▲	
	地産地消、食育、環境リサイクルで「自律循環型の町づくり」の研修	△	▲	
福祉	過疎自治体における超高齢化対策に関する調査	▲	▲	
	全町的な「健康な町づくり」で医療費の節減	△	▲	
	公立診療所のあり方に関する調査研修	▲	▲	
	在宅介護支援体制の整備（社会福祉協議会の役割）	○	▲	
	労働者協同組合の調査研究（活動事例、行政連携等）	○	▲	
教育	家庭ごみ等減量対策の具現化に向けた調査研修	○	▲	
	小中学校一貫教育、コミュニティースクールの調査研修	▲	▲	
	過疎自治体における高等教育推進に関する調査	△	△	
	「子育て基本条例」制定に向けた取組（情報収集・研修）	△	▲	
	「自分（達）ですべき事は自分（達）でする」主体性をもった自治活動の推進	△	▲	
その他	食育・地産地消の推進（「食育基本計画」→情報周知・実践計画・研修）	△	△	
	わかりやすく、町民が参画出来る議会の実現（議会基本条例の周知）	○	△	
	活発な討議（討論）ができる議会の実現	○	△	
	政策的な提案のできる議会の実現	△	△	
	幅広い情報収集、積極的な研修参加	○	○	
	視察の積極的な受け入れ	○	○	
	ホームページの充実（提案、情報発信、参加型）	△	△	
	各種行事への積極的な参加	○	○	